

単元名 立ち上がれ！ねん土(立体)
配当時間 2時間

- 単元の目標** (1) 用具を使いながら、粘土がバランスよく立ち上がる形を見付け、工夫して立体に表すことができる。
- (2) どのようにすれば粘土が面白い形になるのか考えるとともに、自分や友達作品のよさや面白さを見付け、自分の見方や感じ方を広げることができる。
- (3) 板状にした粘土を立ち上げ、いろいろな方法で形を変え、立体に表すことを楽しもうとする。

標準的な展開例

04080103_001

【準備等】 土粘土（2kg程度）、粘土板、粘土べら、かきべら、切り糸、のし棒、新聞紙、霧吹きなど

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 粘土に働きかけて形が変わることを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○粘土を練っていろいろな形をつくる。 ★板状のねん土で、いろいろな形をつくろう <p>○のし棒で板状の粘土をつくる。</p> <p>のし棒の使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真ん中から端へ向けて同じ力で押し伸ばす ・一度のばすごとにひっくり返して、粘土板への密着を防ぐ <p>○切り糸やかきべらを使って形を見付ける。</p> <p>○自分の思い付いた方法で粘土を立ち上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塊の粘土から ・棒状、ひも状の粘土から ・板状の粘土から <p>2 立ち上がった粘土から面白い形を考えて、つくりたいものをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○粘土を削ったり、付け加えたりしながら思い付いたものをつくる。 ○すごいなと感じた工夫を見付けて伝え合う。 ○後片付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書3・4下 P.14, 15 ・汚れてもよい服装で行うようにする。 ・友達のつくる様子を見られるように小グループで向かい合うように机を配置することで、学び合える環境を準備する。 ・粘土をこねたり、丸めたり、団子をつくったりして、粘土の質感を肌で確かめさせる。 <p>途中で他の児童の作品を鑑賞させ、自分の作品づくりに生かすようにさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のイメージに合うように形を変えたり、用具を使って穴を開けたりさせる。 ・できた作品をいろいろな角度から見ながら、さらに付け足したり形を変えさせたりしてもよい。 <p>【評】自分や友達作品のよさや面白さを見付け、作品に活かそうとする活動から、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくっている途中で立たせ方の違う作品を紹介し、表現の多様性に気付けるようにする。 <p>【評】切り糸、かきべら、粘土べらなど、用具によるいろいろな効果を試しながら表す活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】つくりながらできた形から、立ち上がらせ方や全体のバランスを工夫する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘土の立ち上げ方、用具の使い方の工夫に着目し、力強さや面白さを見付けさせる。 <p>【評】自分や友達作品のよさや面白さを見付けたり感じ取ったりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道が詰まらないように、粘土のたくさんついている用具は一度バケツの中でねん土を落としてから、水道で洗う。 <p>【評】作品やこれまでの学習活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】